

第5回福生市基本構想審議会（議事要旨）

■ 開催概要

日 時	平成 20 年 12 月 15 日（月） 14：00～17：00		会 場	第2委員会室
参加者	審議会 委 員	（出席） 鵜野 貴洋恵、加藤 浩子、小林 歌子、清水 貞夫、高田 ヒロ子、 高橋 勉、田村 利光、辻山 幸宣、濱中 供子、日野 さよ子、村 山 利夫、山下 真一、渡邊 一成 （敬称略、委員名簿順）		
		（欠席） 山口 浩		
	市職員	副市長、企画財政部長、企画財政部参事、総務部長、生活環境部長、福祉部長、子ども家庭部長、都市建設部長、教育次長、会計管理者		
	事務局	企画調整課長、課長補佐、担当主査、主任		

配布資料	1 福生市基本構想中間答申（案）	資料 12
	2 中間答申補足資料	資料 13
	3 第4回福生市基本構想審議会（議事要旨）	

■ 議事と要旨

1. 開会	・事務局より配布資料の確認
2. 会長あいさつ	・不可能といわれることにあえて挑戦して可能にし、成功に導く。努力はとても素晴らしいこと。お金がなければ知恵を出せとよく言われるが、私たちも、不可能ということに挑戦して、ぜひそれを可能にしたい。
3. 議題	○福生市基本構想中間答申（案）について ・事務局より資料 12、13 に基づき中間答申案について説明。 ・委員からの主な意見の要点は次のとおりである。

- ・基本構想から福生らしさや具体的な方向性が伝わるようなことが書けないか。
- ・地方分権の推進や自己決定・自己責任などの考え方に対して、行政サイドの心構えが伝わってきていないのではないか。
- ・「協働と共生」という言葉の、協働というのはどのような背景で出来たのか原点に立ち返る必要がある。
- ・どうして協働というキーワードに収斂していくのか、分かりにくいのが、国や地方自治体が地域社会をまかなう財政面、職員面、公権力などの機能が低下してきた。また、一方で市民活動等が活発化してきた。そこで住民と行政双方で力を出し合い良い方法がないものか考えていくのが協働である。最近では協働という言葉が全ての人から歓迎されてはいない。
- ・住民の活動に行政が助力すると考えるべきで、その基本的な組み立てを整理し、言葉に表現し直していく作業が必要なのではないか。
- ・市民活動に積極的に参加していた人たちが、疲れを感じ、だんだん活動から引いていっているのを実感する。基本構想がきれいな言葉で書かれているが、具体的なものが見えてこない。
- ・基本構想の市民提言をベースに、偏っている点や足りない点を審議会の中できちんとまとめていけたらいいのではないか。
- ・将来予想される人口減となり悲観的になる部分があるので、打開するためのインパクトのある提言を盛り込むべきではないか。
- ・福生のまちづくりにおける協働というのはどうあるものかというのを、一緒に考えていく場が必要ではないか。
- ・例えば、基本構想・基本計画の進捗を行政と市民の協働で確認し合えるしくみを盛り込むべきではないか。
- ・ある程度具体的な目標を盛り込み、少しでも将来的には見通しが持てるような提言・提案を入れていくべきではないか。
- ・福生市民と福生市役所とのジョイントの部分が弱いのではないか。ネットワークが大事になるのではないか。
- ・具体的な内容を盛り込もうとすると、全体に対して具体的な内容を盛り込まざるを得なくなり、難しいのではないか。審議会での議論の内容は、基本計画へとつなぐキーとして捉えるにとどめ、それを構想として文章化するかどうかは別途検討すべきではないか。
- ・どこにもあるものは作りたくない、福生なりの基本構想というものを目指すべきではないか。
- ・変えるべきところは変え、残すべきところは残す、といったような、メリハリのあるまちづくりをしていくべきではないか。
- ・日本は開発を進めているが、残したい部分もある。開発と残すところのバランスを取ったまちづくりをしてほしい。
- ・若い力を使うというのがどこにも載っていない。
- ・高齢者や子どもについてはいろいろと言及されているが、若者・青年の層へも何か言及すべきではないか。若者が福生に関心を持ち、いつまでも住み続けてもらうような取り組みが必要ではないか。

3. 議題（続き）	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の居場所が必要なのではないか（イベント開催ができる公園など）。ただうるさい、危ないだけでは何もできなくなってしまうのではないか。 ・若者や働き盛りの世代が買い物に行くようなお店が福生には少ないのではないか。 ・福生のよいところが十分に PR できていないのではないか。 ・地域の中で自分の周りの「安全安心まちづくり」と「子供の見守り」について入れていただきたい。 ・市民が地元をきれいにしようとするような自立、自己管理というようなことについて盛り込んでほしい。 ・基本構想は審議会で審議して議会で議決するが、基本計画は議決事項ではないので行政で決定する。基本構想を細かく書きすぎると行政の計画の中身を縛り過ぎることになり、逆に、あまり内容が緩いとフリーハンドになってしまう。例えば基本構想の中に計画策定への市民参加を書いておくなど、常に市民の参加を求めていくというようなことがうたわれる必要があるのではないか。 ・商工業の活性化の1つの要素として、人の国際交流というレベルだけではなく、もっと事業として国際交流というものを意識した方がいいのではないか。横田基地の存在は、国際交流、人と人の交流レベル以上に大きな事業につながっていく要素があるのではないか。また、国際交流というよりいろいろな人が住んでいけるまちにするということで、多文化共生という視点で盛り込んだほうがよいのではないか。
3. 議題（続き）	<p>○将来像のキャッチフレーズについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回審議会にて具体的に議論を行うこととした。 ・委員からの主な意見の要点は次のとおりである。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・環境をキーワードとして何か考えられないか。 ・市長がよく言っている元気を入れたい。 ・委員から次の具体的なキャッチフレーズ案が提案された。 <ul style="list-style-type: none"> ・住んでよし 商売してよし 訪れてよし 福が生まれる元気あるまち ・福生は福生だ
4. その他 （事務局）	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は1月15日（木）14:00～の開催。 ・今回のご意見を反映して基本構想素案を修正し、再度議論していただくとともに、キャッチフレーズについても検討していただきたい。
5. 閉会	(17:00)

以上